

# あいとぴあ

廿日市市社協だより

No.124



令和4年4月1日発行  
偶数月1日発行

発行/社会福祉法人 廿日市市社会福祉協議会 TEL(0829)20-0294 FAX(0829)20-1616 <https://hatsupy.jp/>

車いすで校内を歩いてみました  
「でこぼこしている道は押しにくいです」



山陽女学園

スーパーサタデー



押絵のパーツづくり  
「誰かの役に立ってうれしい!!」

「ボランティア活動で社会につながる」



アイマスクの体験  
「ガイドする人との信頼関係が  
大切だと思いました」



手話体験  
「自分の名前を手話で表現してみました」

1年前に比べて  
変化は？

- ・ボランティア活動に興味を持った。
- ・人の役に立つことを最優先するようになった。
- ・聴覚に障がいがある人も友達になれるよう、手話を覚えるようにしている。
- ・自分自身のお年寄りに対する態度が変わった

山陽女学園高等部の生徒が令和3年4月から1年かけ、「ボランティア活動で社会につながる」をテーマに、各学年ごと、5〜7回の学びと実践を通じ、ボランティアについて学習しました。



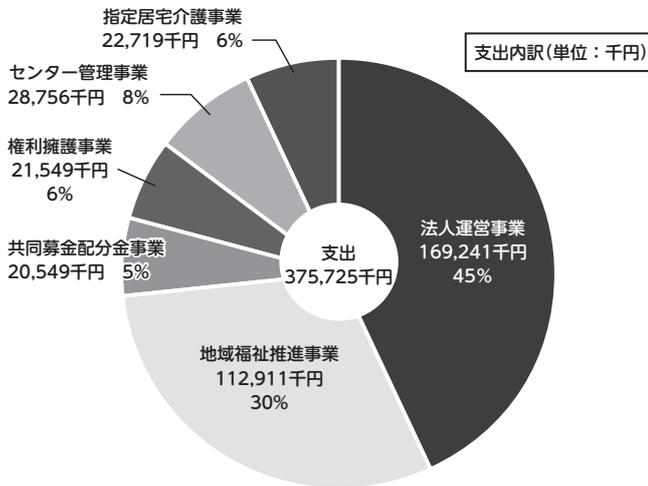
市社協マスコット  
キャラクター  
「はっぴいくん」



共同募金活動に参加  
「温かい気持ちになれました」

令和4年度廿日市市社会福祉協議会予算

令和4年度の市社協事業予算は収入375,725千円(受託金収入割合 依存財源:75% 自主財源:25%)となっています。事業支出については以下のグラフのとおりです。事業計画に示した基本目標に沿って事業を進めていきます。



令和4年度 重点事業予算

	事業名	予算(単位:千円)	財源
基本目標①	生活困窮者自立支援相談事業	19,866	委託
	成年後見利用促進センター事業	9,000	委託
	参加支援事業	15,991	委託
基本目標②	生活支援体制整備事業	32,231	委託
	(佐)地域福祉活動事業	175	自主
	(吉)多機能サロン実施事業	310	自主・その他
	(大)ふれあいのまちづくり推進事業	5,377	自主・その他
	(宮)高齢者自立支援事業	275	自主・その他

廿日市市では、令和3年度から重層的支援体制整備事業を他市に先駆けて本格実施しており、事業の実施に際しては、市社協に対して大きな役割が期待されています。具体的には、地域づくり、包括的相談支援、参加支援に係る取組みが重要となります。

市社協では令和4年度は、この3つの取組みに、ひきこもり支援、権利擁護支援を加えた5つを重点的に取り組むテーマとして掲げ、関連する事業との連携を図りながら地域福祉活動を推進していきます。

また、昨年度策定した地域福祉活動計画及び中期経営計画の実施2年目として、次の3つを基本目標に設定し、現在行なっている事業の改善を図りながら継承して取組んでいきます。

3つの基本目標

- 1 いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、一人ひとりに寄り添った支援を進めます。
- 2 誰もが暮らしやすい地域づくりを進めます。
- 3 職員の資質向上、魅力ある組織づくり、持続可能な財政基盤づくりを進めます。

年間の流れ(予定)

2022年

6月 地域向け講演会

7月～9月 地域に出向いてお話を伺います。

10月 ひきこもりサポーター養成講座  
2日間コース

講座受講後はきっかけプロジェクトコース、ばそあ基地コースなどで活動していただけます。

2023年

1月 きっかけみつかるフェスタ  
ご家族・ご本人向け

市協が行なっているひきこもり事業に体験できるイベントです。

6月26日(日)地域向け講演会(予定)

「地域におけるひきこもり支援のあり方を考える」

講師 ノートルダム清心女子大学 中井俊雄さん  
～申込みはボランティアセンターまで～

きっかけプロジェクト

家から一步、社会とつながる接点として、まずは興味・関心のあることをからやってみるプロジェクトです。今年度はミニスポーツ大会やボードゲームを定例化して、より参加しやすい形をとっていきます。他にはアーチェリーなどを企画中です。

ばそあ基地

不登校やひきこもりの人たちに自由に過ごしてもらおうスペースです。今年度は地域の人たちと一緒に畑作業などができたらと考えています。

ひきこもり支援ネットワーク事業

はつかいちボランティアセンターでのひきこもりの取組みを総称として「ばそあ」(はそ・あ・ばそ)としています。

「ばそ・あ・ばそ」は、さまざまな理由で家から出にくい人に対して、お話を聞かせてもらったり、やってみようという一歩を一緒に考えたりしています。今年度計画しているものは左のとおりです。

他の取り組みや詳しい内容はホームページをご覧ください



音訳テープ・デイジー図書・点訳本あります

目が不自由な人のために、「あいとぴあ」「広報はつかいち」を音訳、点訳しています。そのほか「西広島タイムス」なども音訳してお届けしています。詳しくは、市社協へお問合せください。

## 社会的に孤立する人たちの つながりを作る 参加支援事業

参加支援事業とは、既存のしくみでは対応できない本人や世帯のニーズ等に対応するため、地域の社会資源などを活用して社会とのつながり作りに向けた支援を行うものです。

高齢化や人口減少の進行、昨今ではコロナ禍で、人と人とのつながりはますます希薄になっていきます。

複数の課題を抱え、社会とつながることが難しい個人や世帯にとって、対象ごとの制度サービスだけでは、対応が困難になっていきます。

市社協では、市内の様々な社会資源と連携を取りながら、このような人たちを「参加の場」「活動の場」に結びつけるための事業を展開してまいります。

「洋服できるよ」「市内の神社の歴史を詳しく知ってあるよ」「着物の着付けができるよ」「料理教えてあげる」など、あなたの得意な

ことを教えてください。企業の「場所を提供できる」「出前で〇〇づくり教室ができる」など企業の強みも社協にお寄せください。

また、「一歩社会に踏み出したいけど、どうしていいのかわからない」人はぜひ市社協にご相談ください。やってみたいことや興味のあることと地域のみなさんのできることをつないで、あなたの最初の一歩を支援します。

### 成年後見利用 促進センターが 設置されます

市社協では、現在、権利擁護に関する2つの事業を実施しています。

#### ① 福祉サービス利用 援助事業「かけはし」

認知症や障がいなどにより、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理をすることに不安を抱えている人が、地域の中で自分の意思や希望を叶えながら安心して自立した生活を送れるよう支援しています。

#### ② 法人後見事業

常に判断能力を欠く状態にある人または不十分な人に対しては、市社協が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、ご本人の財産管理を適切に支援したり、契約などを行なっています。

#### 『成年後見利用 促進センター』

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的に、『成年後見利用促進センター』が設置されます。

昨年から複数回にわたり、行政や専門機関が集まって設置準備委員会を開催し、協議をすすめてきました。

地域連携ネットワークを強化しながら、今後市民の皆さんが成年後見制度をより使いやすく、相談しやすくなるよう準備しています。次号以降に、センターの機能などについて詳しく紹介します。

## 大野地域

イキイキとした  
毎日をおくりたい!

地域の役に立ちたい!

### そんなあなたを 応援します!

#### 《自分力アップ 応援プログラム》

地域で何か新しく活動を始めるきっかけづくりに、また、すでに様々な地域活動や市社協事業に携わっている活動者の皆さんのフォローアップのために、令和3年度から始めた「自分力アップ応援プログラム」。

昨年度は、コロナ禍のあおりを受け、予定の半分しか開催できませんでしたが、延べ54人の皆さんに受講していただきました。

免疫力アップ講座に参加されたサロンの世話人のお一人は、講座で習った体操をサロンで披露し、新たに取入れたとのこと。「参加者の皆さんに大変好評だった」と喜ばれていました。

今年度も引き続き地域の皆さんを応援するため、講

座を開催します。ボランティア活動者や事業所関係者、サロンの世話人、また、今から何か始めたい人など、どなたでも参加いただけます。

講座の内容は、「免疫力アップ講座」や「救急救命講習」など。また、今年度は「認知症サポーターステップアップ講座」も予定しています。

この機会に新たなものにチャレンジし、今までにないスキルを身につけて、地域活動や毎日の生活をさらに充実させましょう!

4/20(水)	免疫力アップ講座
5/23(月)	認知症サポーター養成講座
6/21(火)	救急救命講習
7/27(水)	知っておきたい調味料のおはなし
9/26(月)	フレイル予防講座
10/24(月)	免疫力アップ講座
11/18(金)	知っておきたい調味料のおはなし
12/16(金)	救急救命講習
1/26(木)	認知症サポーターステップアップ講座
2/21(火)	フレイル予防講座

※内容や日時に変更になる場合があります。※時間等、詳しい内容は市社協大野事務所までお問い合わせください。

**「もったいない」を「ありがとう」に!フードバンクにご協力ください!** 【問合せ・持込先】  
ご家庭で不要になった食糧品(賞味期限1か月以上のもの)をご提供ください。はつかいち生活支援センター  
※取り扱えないものもありますので、まずはご連絡ください。 ☎20-4080(市役所1階16番窓口)

# 吉和地域

よしわ社協だより

「ぬくもり」を今年度も

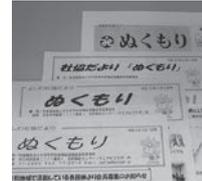
発行します

吉和事務所が発行している広報紙「ぬくもり」は、吉和独自のいきいき活動推進事業の一つで、吉和地域の福祉活動やサロン活動、福祉サービス、老人クラブの活動、1か月の予定表などを掲載して、毎月1日に吉和地域へ全戸配付、社協各事務所にもお届けしています。

「ぬくもり」は、旧吉和村社協の時代から発行され、この愛称が付けられたのは、平成8年9月20日のことで、住民に公募し寄せられた12点の候補から会議で選考されました。最終的には、母親の懐のようなあったかさが感じられる理由で選ばれました。当時の職員の森田昭子さんに話を聞くと、「あったかいイメージじゃけえ、選んだのを覚えとる」と言われていました。それから、平成15年の合併により5年間発行していませんでしたが、「吉和独自のサービスがわかりにくい」「地域の情報がほしい」

などの声をもとに、再び平成20年4月1日に同じ愛称で発行して以来、今に至っています。

今年1月号からは、市社協のホームページにも掲載し、吉和地域のぬくもりのある情報を発信しています。



タイトル文字の変遷です

## 宮島地域

### 高齢者自立支援事業

宮島地域に在住する70歳以上のひとり暮らし高齢者の孤独感解消や地域見守り活動を推進するため、宮島地区民生委員児童委員協議会や宮島町食生活改善推進協議会などの関係機関と連携を図り情報共有しながら「高齢者給食サービス事業」「ひとり暮らし高齢者懇談会」「あんしんほっとコール」といった事業を展開し高齢者の支援活動を行っています。

「高齢者給食サービス事業」は、食事を年6回開催し、ひとり暮らし高齢者の交流の場を設けています

が、コロナ禍のため、昨年度は4月と10月の2回のみの開催となりました。

「ひとり暮らし高齢者懇談会」は、警察や消防などから講演してもらい、食事を年2回開催しています。昨年度は12月のみの開催でしたが、山口県東部ヤクルト販売(株)の協力を得てフレイル(健康と要介護とのぼさまの状態のこと)予防について講演していただきました。コロナ禍で外出する機会も減り、運動不足などでフレイルにならないように予防体操などを行いました。

「あんしんほっとコール」は、職員が利用者の希望する曜日に「おはようコール」をすることで安否確認や健康状態を把握する見守り事業のことです。現在4人が利用しています。

市社協では、これらの事業を通してひとり暮らし高齢者が、宮島で安心して暮らせるよう関係機関と連携を図り取り組んでいます。



イスに座る姿勢でスクワット運動

## コロナ禍による生活課題の解決に向けて

コロナ禍により、私たちの生活は大きく変わり、これまで「あたりまえ」だったことがあたりまえでなくなりました。この変化はさまざまな生活課題を生んでいます。

特に深刻となっている生活困窮者の課題では、飲食業や観光業など多種多様な業界に打撃を与え、それに伴い失業者や減収による困窮者が増えました。

こうした課題に対する支援策として、新型コロナウイルス特例貸付(令和4年6月末まで)があります。

貸付額は広島県全体で110億円(令和2年3月末から令和4年1月末まで)を超えています。廿日市市でも3億1000万円となっています。

生活困窮者が増えている中、当会の相談件数も増えています。相談者から「失業して家賃が払えない」や「子どもに食べさせるお金がない」などの声。こうした不安を解消するため、伴走型の支援、先の特例貸付、住居確保給付金(家賃を補助する制度)など困窮者への支援策

はあります。

しかし、制度だけでは課題が解決されない場合、制度以外の支援が必要になります。例えば、市民の皆さんと企業から寄贈される食糧で成り立っているフードバンクを利用することにより、食の確保ができます。

また、住居を失う人もいますが、高齢を理由に住居を借りることができない人もいます。この課題を解決するために地域や支援団体による見守りなどで、賃貸物件オーナーなどの不安解消を図り、入居の促進につながるできないか居住支援の取組みを検討しています。

このように地域や企業における活動が誰かの生活の支えになっています。その必要性や重要性はコロナ禍でより高まっており、今後も課題解決に向けた地域や企業による取組みが大切だと考えます。

### ひきこもり家族の会

【日時】4/23(土)5/28(土) 【時間】10時~12時  
【場所】山崎本社みんなのあいプラザ

### 学校に行っていない子どもの暮らしを考える親の会

【日時】4/24(日)5/22(日) 【時間】13時30分~15時30分  
【申込】はつかいちボランティアセンター ☎20-0294

一緒に話しませんか?  
不安や悩みを共有しましょう!

# のびる愛の手

令和3年12月11日～令和4年2月10日

次の方々から、市社会福祉協議会に温かいご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。ありがとうございました。

本会への寄付金については、所得税・法人税の寄付金控除が受けられます。寄付金は各地域の事業のために使われます。(金一封の方は金額表示がありません。)

## 《一般寄付》

氏名 (コメント)	金額等
【廿日市地域】 サントリービバレッジサービス(株)様 明治安田生命 廿日市営業所様 (地域福祉のために)	30,000円
匿名	1件
匿名	2件
匿名	1件
匿名	1件
匿名	1件
匿名	2件
匿名	1件

## 《香典返しにかえて》

氏名 (故人名)	金額等
【佐伯地域】 乙出 サツキ様(乙出 兼宗様) 津田 増村 大喜様(増村 ミスノ様) 津田 50,000円 川元 明様(川元 キヨコ様) 津田	
【吉和地域】 三浦 実一様(三浦 久江様) 佐方本町	
【大野地域】 高橋 昭彦様(高橋 榮夫様) 大野中央	
【宮島地域】 坂本 薫様(坂本 美奈子様) 北之町東表 熊田 清司様(熊田 昭子様) 北之町浜 島 雅夫様(島 幸子様) 杉之浦 藤田 篤夫様(藤田 和夫様) 伊勢町	

## 令和4年度 社協会員加入のお願い

市社協では「住民一人ひとりが主役のまちづくり」を実現するために住民やボランティア、関係団体の皆さまと地域づくりを進めています。

社協会員として福祉のまちづくりにご支援くださいますようお願いいたします。



賛助会費 (個人)

一口：2,000円～

団体会費 (企業や法人などの団体)

一口：5,000円～

お申し込み、お問合せは市社協窓口まで

## 安心・安全が、みんなの笑顔

「ひろしま」の笑いをあなたの笑顔へ



佐伯中央農業協同組合  
本店/廿日市市宮内 4473-1  
TEL(0829) 39-3232

## <社会福祉法人 廿日市市社会福祉協議会 窓口等一覧>

私たち廿日市市社会福祉協議会は、地域の皆様と一緒に地域福祉の推進に取り組む民間の団体です。

総務課・地域福祉課	〒738-8512 新宮一丁目 13 番 1 号	TEL(0829)20-0294
はつかいちボランティアセンター	〒738-8512 新宮一丁目 13 番 1 号	TEL(0829)20-0294
佐伯事務所	〒738-0222 津田 4109 番地	TEL(0829)72-0868
吉和事務所	〒738-0301 吉和 1771 番地 1	TEL(0829)77-2883
大野事務所	〒739-0492 大野一丁目 1 番 1 号	TEL(0829)55-3294
宮島事務所	〒739-0506 宮島町 960 番地 2	TEL(0829)44-2785
はつかいち生活支援センター	〒738-8501 下平良一丁目 11 番 1 号	TEL(0829)20-4080

～皆様からいただいた寄付は、地域福祉活動のために活用されております～

生協ひろしま

移動店舗

ぷちこ〜ぷ

「近くに生鮮商品を買っている店がない」「車に乗れないから遠くの店まで買い物に行けない」そんな声にお応えして、生協ひろしまでは移動店舗事業を行っています。お買い物が自由な方の支援と地域コミュニケーションの場をめざしています！



〒739-0495  
広島県廿日市市大野原 1-2-10  
TEL0120-500-935  
http://hiroshima.coop



# セブン-イレブン

近くて便利!

## 障害者・高齢者の方、配達も致します。

下記店舗にて御協力致します。お気軽にご相談下さい

廿日市本町店	廿日市地御前北3丁目店	廿日市陽光台店	廿日市阿品店
廿日市山陽園店	廿日市串戸4丁目店	廿日市平良1丁目店	広島宮島口店
廿日市城内店	廿日市宮内1丁目店	廿日市下平良2丁目店	廿日市大野中央店
広島串戸港店	廿日市木材港店	広島河津原店	廿日市大野沖塩屋店
広島峠店			

# 廿日市地域

## 「はつかいちのフードバンク」

日本では安全に食べられるにも関わらず、やむなく捨てられてしまういわゆる「食品ロス」が、日本国内だけでも年間約646万トン(食品関連事業者・約357万トン、一般家庭・289万トン)に上るといわれています。市社協では、こうした「食品ロス」を活用し、食糧を困窮者や必要としている施設や団体に無償で

## Amazon「みんなで応援」プログラム

市社協では、アマゾンの「みんなで応援」プログラムを活用し、広く皆さんからの食糧の支援を受け付けています。ぜひご利用ください。



「Amazon『みんなで応援』プログラム」とは、団体・施設を、アマゾンを通じてサポートできるプログラムです。



皆さんからいただいた食糧品

提供する「フードバンク」を行なっています。平成29年から開始し、これまで、市民の皆さんや企業からたくさんの方の食糧品を頂きました。令和3年度は12の企業・団体のべ62人の市民の皆さんから食糧品と5万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。いただいた食糧品は市内の生活困窮者(78人)、児童福祉施設、高齢者施設、子ども食堂などに配布し、皆さんに喜ばれています。市社協はこれからも食糧品を提供していただく市民の皆さんや企業・団体と受け手側の困窮者や施設・団体の両者を結びかけはしとなります。

市社協では、随時、食糧品を募集しています。お米、インスタント食品、レトルト食品などご家庭や廃棄する食糧品がありましたら、ご連絡ください。

もったいないをありがとうに



☎:0829-20-4080

<https://hatsupy.jp/foodbank/>



### 誰もがしあわせに暮せる社会に 社会福祉法人くさのみ福祉会



職員募集中  
未経験者OK

まずはお電話を  
廿日市市串戸 (くさのみH.P.)  
☎(0829)30-9303

### 医療法人ハートフル アマンナビテーション病院 廿日市在宅総合ケアセンターあまの



在宅医療で地域を支えます

福祉のことなら何でもご相談ください!

社会福祉法人 三篠会

## ふれあいライフ 原

- 介護老人保健施設 ●障害者支援施設
- 特別養護老人ホーム ●重症児・者 福祉医療施設

職員・ボランティア募集中

ふれあいライフ原 検索 広島県廿日市市原926-1

【宮島スマートI.Cから車で5分程度です。】

tel.0829-38-3333

内覧随時受付中

サービス付き高齢者向け住宅

## 光風舎 新館

全室個室  
デイサービス併設  
無料体験有り  
(食事、マッサージ、送迎)

入居者募集中

廿日市市串戸5丁目11-14 TEL 32-0266  
JR宮内串戸駅から徒歩5分 (0829)



## 社会福祉法人 友和の里

生活支援員、給食調理員 スタッフ募集中!!

- ・生活介護事業
- ・短期入所事業
- ・共同生活援助事業
- ・障害者支援施設
- ・指定特定相談支援事業

廿日市市友田218-38 ☎0829-74-2157

発達障害支援・ひきこもり支援・不登校支援



一般社団法人  
青少年ワークサポートセンター広島

## わくサポ廿日市

- 放課後等デイサービス
- 通信制高校サポート校 (フリースクール)
- グループホーム

廿日市市津田596-1 (旧 津田こどもの家)

Tel.0829-40-1150

問合せ/月～金(祝日除く) 10:00～17:00

## 医療法人社団友和会

## 串戸心療クリニック

訪問看護ステーション 和み

精神科デイケア 叶え

廿日市市串戸4丁目2-16 ☎0829-30-6014  
宮内串戸駅より徒歩約5分

— 私たちも地域福祉活動を応援しています —